

明けましておめでとうございます。2023 年が株主の皆様にとって、健やかで幸せな年になることを祈っております。

私は毎日が真剣勝負だと思って経営にあたっておりますが、今年は例年にも増して勝負の時が多くなる予感です。地方創生×DX をリードする企業として、当社はこれからの 365 日で 3 つのことを成し遂げなければならないからです。

一つ目は、『ホールディングス化による経営基盤の強化』です。今後、グループ経営を推進していく際、どのような統治機構を築き上げるかが継続的な成長と繁栄の決め手となると考えております。各事業、各社の主体性を引き出しつつ、個々がバラバラに動くのではなく、全体としてのビジョン実現に向けて統制の取れた動きを取るにはどうすれば良いかを模索します。また、グループ会社のマネジメントを支える機能を持株会社に集積させ、極めてコスト効率の良い本社組織を各社が整備できるようにしていきます。

二つ目は、『目を見張るような新事業の成長』です。昨年まで、特に自治体 DX 市場に焦点を当てた事業立ち上げに集中していました。そのおかげで、当該事業が飛躍的に成長していく基盤ができてきました。例えば、我々が自治体向け SaaS 市場において、圧倒的な成果を残してきたことは日経コンピュータの顧客満足度調査などでも明白になりました。今年はいよいよ本丸に取り掛かる時期です。我々が自治体 DX 市場をリードする企業になるためのラストスパートをかけます。

また、地方創生を成し遂げるためには、自治体に加え、地方銀行を巻き込む必要があります。今年は地方銀行との協業を加速させる年でもあります。

三つ目は、『株価にポジティブな材料の提供』です。2020 年に上場来高値をつけて以来、当社の株価は低迷しております。キャピタルゲインで株主の皆様へ報いるという上場時のポリシーは全く変わりませんが、この 2 年ほど、ご期待に添えずにいたため、昨年は配当を開始しました。今後は増配をコンスタントに継続できるような企業体を創り上げていきます。また、2023 年の年末には株価が上昇気流に乗っているようにしたいと考えておりますので、適切にリスクを統御しつつ、株主の皆様へ良いニュースを届けられるよう邁進してまいります。

このような当社の活動に対する株主の皆様のご理解に感謝しております。本年もご支援のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2023 年 1 月

株式会社チェンジ 代表取締役兼執行役員社長
福留 大士